

日本スポーツ歯科医学会誌投稿・掲載規程（第29巻第1号から適用）

1. 総則

- 1) 著者（共著者を含む）は一般社団法人日本スポーツ歯科医学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に認めた者はこの限りではない。
- 2) 原稿の種類は総説、原著、臨床報告等、スポーツ歯科活動紹介、その他（紹介、トピックス等）とする。
- 3) 原稿の内容はスポーツ歯学に関するもので、投稿原稿は和文とし、他誌に未発表のものに限る。
- 4) 投稿原稿は、原則として編集委員会が依頼する者が査読する。
- 5) 原稿の採否、掲載順序、原稿の種類は編集委員会が決定する。

2. 倫理規程

- 1) ヒトを研究（実験）対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守して、倫理的に行われており、被験者あるいは患者からインフォームド・コンセントを受けていること、また、所属施設の倫理委員会が設置された後の研究については当該委員会の承認を得ていることを明記する。
- 2) 動物を研究（実験）対象とする内容については、所属施設の動物実験委員会が設置された後の研究については当該委員会の承認を得ていることを明記する。また各種の動物保護や愛護に関する法律や基準に則していなければならない。
- 3) 患者を対象とした場合には、臨床所見、データ、写真などの公表に際し、患者から使用の承諾を得ていることを明記する。またその際には、個人が特定されることのないよう、個人情報の保護を徹底すること。

3. 原稿の投稿

- 1) 原稿の送付先
「日本スポーツ歯科医学会編集委員会宛」として、書留郵便または日本スポーツ歯科医学会ホームページに設置してある雑誌投稿フォームから投稿する。
郵送先：〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
一般財団法人口腔保健協会内
一般社団法人日本スポーツ歯科医学会編集委員会
TEL 03-3947-8894
- 2) 郵送の際は、投稿原稿にはコピー2部（表、図などを含む）、ならびに原稿をファイルした電子記

録媒体（CD-R等）を添付する。

- 3) 掲載された投稿原稿、表、図ならびに電子記録媒体は原則として返却しない。

4. 証明書等の発行

- 1) 編集委員会に到着した日付で原稿の受付を確認する文書を発行する。
- 2) 掲載する巻号を記入した論文掲載証明書は採用が決定した後に発行する。

5. 著作権ならびに複写権

- 1) 本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。ただし、本学会が必要と認めた場合あるいは外部から引用の申請があった場合には、編集委員会で審議し、掲載ならびに版権使用を認めることがある。
- 2) 著者は当該著作物の複写権の行使を一般社団法人日本スポーツ歯科医学会に委任するものとする。

6. 掲載料および別刷

- 1) 基本掲載料を原著、臨床報告およびその他では刷り上がり1ページあたり5,000円とする。ただし、原著の印刷総ページが8ページを超過した場合、また、臨床報告等、スポーツ歯科活動紹介、その他で4ページを超過した場合には、それぞれ1ページにつき8,000円とする。なお、図のトレースおよびカラー印刷等は実費とする。
- 2) 英文については校正に要する実費を徴収する。
- 3) 総説等の依頼原稿についてはその掲載料は無料とする。
- 4) 別刷は50部以上とし、その費用は著者負担とする。ただし、依頼原稿は無料とし、別刷30部までを贈呈する。

7. 原稿の様式

原稿は以下の様式に従って執筆する。準拠しない場合は加筆、訂正を申し入れる。また、却下する場合がある。

- 1) 原稿は、口語体、新かなづかい、横書きとし、A4判26字×24行（624字）とする。なお、原稿4枚が刷上がり1頁に相当する。
- 2) 記載は表題、著者名、所属、抄録、キーワードおよび本文とする。
- 3) ランニングタイトルとして30字以内の表題を付記する。
- 4) 投稿原稿には、投稿票・承諾書・必要事項をチェックした投稿前チェックリスト票および利

- 益相反自己申告書を添付する。
- 5) 原稿は次の順に一括して、左上隅を綴じる。
- (1) 投稿票・承諾書・投稿前チェックリストおよび利益相反自己申告書
 - (2) 表題、著者名、所属（英文併記）
 - (3) 英文抄録（200～300 words）（「スポーツ歯科活動紹介」および「その他」では不要）およびキーワード（5 words）とそれぞれの和訳
 - (4) 本文（下段中央にページ数を記す）
 - (5) 表、図
 - (6) 表および図の説明文
- 6) 郵送の際は、原稿を以下の様式でファイルした電子記録媒体を厳重に梱包し、投稿原稿に添付する。
- (1) 1枚の電子記録媒体には論文1編のみをファイルする。ただし、ファイルがいくつかに分かれる場合には区別できるようにラベルに記載する（ファイル名の末尾に順番を表す番号をつけるなど）。
 - (2) 数字、欧文はすべて半角とする。罫線、飾り文字、特殊文字、拡大文字、外字等は可能な限り避ける。
 - (3) 電子記録媒体が破損する恐れがあるので、必ずバックアップファイルを残しておく。
- 7) 論文の記述方法
- (1) 論文を分けて発表する場合には、主題の次に第1報あるいはIと書き、その内容を具体的に表す副表題を付記する。
 - (2) 原著の構成は原則として以下の通りとする。ただし、臨床報告などにおいては内容により変更は可とする。
 - I. 緒言 II. 研究方法（材料と方法）
 - III. 結果（成績） IV. 考察 V. 結論（まとめ）につづき、謝辞および文献とする。
 - (3) 見出しへは次の順に項目をたて、行の最初の1字をあける。
 - I., II., III., IV., ……
 - 1., 2., 3., 4., ……
 - 1), 2), 3), 4), ……
 - (1), (2), (3), (4), ……
 - a, b, c, d, ……
 - a), b), c), d), ……
 - (4) 数字、単位等
 - a. 数字は算用数字とする。
 - b. 数字を含む名詞、形容詞等（例：十二指腸、三角形など）は日本数字とする。
 - c. 単位は原則として国際単位系の基本単位、補助単位および組み立て単位を使用する
- (温度は摂氏を使用する)。
- (5) 外国語
- a. 外国語はすべて原綴りとし、表題と固有名詞を除き文頭にあたっても大文字を使用しない。
 - b. 英文の改行にあたっては、wordで区切る。
- (6) 製品名
- 器具や薬品については、商品名、型番、製造会社名、所在地（都市名ならびに外国の場合には国名）を記載する。
- 8) 文献の記載様式
- (1) 本文で引用した順序にしたがって、引用箇所に一連番号を付し、本文の末尾に引用順に集め記載する。なお、同一箇所で複数引用した場合には年代順とする。
 - (2) 著者名は、姓、名（外国人はイニシャルのみ）の順とする。
 - (3) 共著の場合は、筆頭著者を含めて3名まで記し、4人目以下は、「ほか」または「et al.」と略す。
 - (4) 引用文献の表示は原著の表示に従う。ただし、欧文の場合は文題の頭文字のみ大文字とする。
 - (5) 雑誌文献引用の記載は以下の方式による。
 - a. 雑誌論文は、著者：表題、雑誌略名、巻：ページ-ページ、発行年（西暦）の順に記載する。なお、ページは通巻ページとする。
 - b. 欧文雑誌の略名は、Index Medicusに従う。和文雑誌の略名は、その雑誌が正式に採用している略名を使用する。
 - c. 原書あるいは原論文が得られずに引用する場合には、末尾に（から引用）と付記する。
- 例：1) 和文論文：大山喬史、宮原隆雄、鈴木るり、ほか：咬合と競技力、日歯医師会誌、43：1255-1262、1990。
- 2) 欧文論文：Kerr, I. L. : Dental problems in athletes, Clin. Sports Med., 2 : 115-122, 1983.
- (6) 単行本文献引用の記載は以下の例に従う。
- 例：1) 和文単行本：船越正也：病態口腔生理学、1-19、学建書院、東京、1990。
- 2) 欧文単行本：Anderson, M. K. and Hall, S. J. : Sports injuries management, Williams & Wilkins, Media, 1995.
- 3) 分担執筆単行本：大畠 裕、後藤健吉、新橋 武、ほか：顔面の外傷、黒田善雄監修、中嶋寛之、高沢晴夫、吉松俊一編、25-26,

- メディカル葵出版, 東京, 1985.
- 4) 翻訳単行本 : MeNeill, C. edited (杉崎正志, 藤井弘之監訳) : Temporomandibular disorders (TMD 治療の最新ガイドライン, 13-20, クインテッセンス出版, 東京, 1993), 1993.
- (7) 未発刊の文献は末尾に投稿中あるいは掲載予定と記載する。
- 9) 表と図の書き方
- (1) 表と図（写真を含む）は原則として1枚ずつ A4 判用紙に作成し, 用紙の右下端に著者名, 図表番号を明記する。トレースを希望する図は掲載希望寸法とともに「要トレース」と右肩部に朱書きする。なお, カラー刷り希望の場合は明記する。
- (2) 表と図（写真を含む）は本文で引用順に, 表 1, 表 2…あるいは図 1, 図 2…のように一連
- 番号をつけて本文の最後に綴じる。
- (3) 表の番号と説明文は原則として表の上部に, 極端に長い説明文は下部に記載する。
- (4) 図の番号と説明文は原則として図の下部に記載する。
- (5) 表と図の説明文は和文とする。
- (6) 表と図の挿入箇所は本文の右欄に朱書きする。

8. 校正

- 1) 著者校正は原則として初校のみとし, 組み版に影響の出るような加筆, 変更は原則として認めない。
- 2) 校正は朱書きで行う。
- 3) 校正は速やかに行い, 校正した印刷原稿と本原稿を編集委員会が指定した期日までに返送する。

9. 原稿の締め切り

- 1) 原稿の締め切り日は3月末日および9月末日とする。

・スポーツ歯学発行日程表

巻号	原稿締切日	発行日
29巻2号	2025年9月30日	2026年2月1日
30巻1号	2026年3月31日	2026年8月1日

複写をご希望の方へ

日本スポーツ歯科医学会では、複写複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請ください。

日本スポーツ歯科医学会誌投稿票

1. 論文の種類（該当するものを○で囲んで下さい）
・総説 ・原著 ・臨床報告等 ・スポーツ歯科活動紹介 ・その他（紹介、トピックス等）
2. 表題 a) 和文 _____
b) 英文 _____
*ランニングタイトルとして30字以内の表題を付記してください

3. 著者名 a) 和文 _____
(全員)
b) 英文 _____

4. 筆頭著者の a) 和文 _____
所属名 _____
b) 英文 _____

5. 原稿および図表枚数
本文原稿枚数（文献を含む）：_____枚、表枚数：_____枚、図枚数（写真を含む）：_____枚
6. 別刷希望部数 _____部
7. 連絡先（投稿・校正責任者）
・氏名 _____
・住所 _____
・電話 _____ · Fax _____
・E-mail _____

承諾書

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 殿

年 月 日

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会の機関誌『スポーツ歯学』の投稿規程により、下記の著作物の著作権は貴学会に帰属することを承諾いたします。

- ・論文タイトル _____

- ・著者（全員） _____ 印 _____ 印
_____ 印 _____ 印
_____ 印 _____ 印
_____ 印 _____ 印
_____ 印 _____ 印

投稿前チェックリスト（□にチェックを入れて下さい）

- 投稿票・承諾書に必要事項は記入してありますか
- 著者は全て本会会員ですか
- 原稿は口語体、新かなづかい、横書きになっていますか
- 本文原稿は 26 字 × 24 行（624 字）として A4 判用紙を用いていますか
- 抄録とキーワード（英語ならびに日本語）を記載していますか
- 本文にページ数が入れてありますか
- 文献は所定の記載方法で引用順になっていますか
- 表と図の引用箇所を本文右欄に朱書きしていますか
- 図表の説明文（和文）を付けましたか
- 表と図は 1 枚ずつ A4 判用紙に作成し、用紙の右下に著者名、表あるいは図の番号を明記していますか
- カラー写真、図のトレースなど、希望の場合はその旨を記載してありますか
- コピーを 2 部添えてありますか
- 投稿規程に沿った様式で原稿をファイルした電子記録媒体を添付していますか
- 別刷希望部数を記入してありますか
- 利益相反自己申告書を添付していますか
- その他、投稿規程の各項について、もう一度ご確認下さい

利益相反(COI)申告書

著者名: _____

論文題名: _____

(著者全員について、投稿時から遡って過去1年間以内での発表内容に関する企業・組織または団体との利益相反(COI)状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名・企業名などの記載
① 報酬: 1つの企業・団体から年間 100 万円以上 (源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有・無	
② 株式の利益: 1つの企業から年間 100 万円以上 (源泉徴収税額等控除前の支払金額)、あるいは 当該株式の 5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料: 1につき年間 100 万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有・無	
④ 講演料等: 1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有・無	
⑤ 原稿料: 1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が 200 万円以上	有・無	
⑦ 奨学(奨励)寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が 200 万円以上	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	有・無	
⑨ 旅行、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間 5 万円以上	有・無	

(本利益相反(COI)申告書は論文掲載後 2 年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

Corresponding author (自署) _____